

## 〔大学の所定の科目を履修することで認定される資格〕

### ◎公益社団法人日本心理学会認定心理士（通称，認定心理士）及び認定心理士（心理調査）

#### 1. 「認定心理士」について

##### 1) 資格の概要

認定心理士とは、心理学の専門家として仕事をするために必要な最小限の標準的基礎学力と技能を修得していると公益社団法人日本心理学会が認定した人のことである。心理学専攻者としてのアイデンティティを持ち、専門性の向上に資するために設けられている。

認定心理士を取得するためには、以下の「履修のガイドライン」に従って、所定の心理学関連科目を36単位以上履修し、かつ、以下の各項目を満たさなくてはならない。

(1) 16才以降少なくとも2年以上日本国に滞在した経験を有する者。

(2) 学校教育法により定められた大学、または大学院における心理学専攻、教育心理学専攻、または心理学関連専攻の学科において、別表に掲げる科目を履修し、必要単位を修得し、卒業または修了した者、および、それと同等以上の学力を有すると認められた者。

なお、認定の詳細は社団法人日本心理学会の関連細則の定めるところによる。

右記のHPで各自確認のこと。 <http://www.psych.or.jp>

また、履修については下記長野大学HPを参照すること。

[http://www.nagano.ac.jp/education\\_research/F\\_/fukushishinri/ninteirisyuu/index.html](http://www.nagano.ac.jp/education_research/F_/fukushishinri/ninteirisyuu/index.html)

##### 2) 履修のガイドライン

以下の表にある科目から、**注(\*)に従って36単位以上取得すること。**

#### 2. 「認定心理士（心理調査）」について

##### 1) 資格の概要

「認定心理士」の上位資格に位置づけられ、認定心理士と同時に取得することが可能である。心理学の基本的知識及び技術をもとに実験・調査・観察等の研究ができることを公益社団法人日本心理学会が認める資格であり、認定心理士資格申請にかかわる科目に加え、認定心理士（心理調査）資格申請のための必修科目を修得することで資格が得られる。

##### 2) 履修のガイドライン

『認定心理士（心理調査）』では、「認定心理士」の所定カリキュラムの必要単位取得に加えて、実験・調査・観察等の手法を用いた研究（2課題；卒業論文を含む）を主体的に行い、その一連のプロセスを日本心理学会指定のレポート様式において成果報告し、資格申請および審査を受けるものである。

以下の表にある科目から、**注(\*)に従って履修すること。**

18年度生用

## 【認定心理士】

法人の定める科目領域		本学開講科目	単位数	履修要件		取得年次	担当教員
基礎科目	a	心理学概論 I	2	4 単位 選択 必修	12 単位以上 選択必修 左の単位を含み、 36 単位以上 選択必修	1～	遠藤
		心理学概論 II *1	2			1～	佐藤
		心理学	2			1～	佐藤
	b	心理学研究法 (心理調査概論)	2	4 単位 選択 必修		2～	佐藤
		心理統計学 I (心理統計学)	2			1～	遠藤
		心理統計学 II *1*2	2			2～	遠藤
	c	心理学基礎実験 I *3*4	2	3 単位 選択 必修		2～	遠藤・谷田・佐藤
		心理学基礎実験 II *1*3	2			2～	遠藤・谷田・佐藤
	選択科目	f	発達診断の理論と方法	2		4 単位 選択 必修	2～
教育心理学 (教育・学校心理学)			2	1～	高木		
発達心理学			2	2～	芹澤		
g		臨床心理学	4	4 単位 選択 必修	3～	野川	
		カウンセリング	4		3～	山本	
		ストレスマネジメント論	2		3～	佐藤	
		心理的アセスメント	2		2～	担当教員	
		精神疾患とその治療 I・II *1	2(4) *6		2～	上鹿渡	
		精神保健の課題と支援 I・II *1	2(4) *6		2～	上鹿渡	
h		児童精神医学	1(2) *6	4 単位 選択 必修	2～	上鹿渡	
		社会心理学	2		3～	遠藤	
		集団心理学	2		1～	遠藤	
i.その他		人間関係論	2		1～	市東	
		卒業研究と論文	4(8) *7		4	遠藤・佐藤	
		専門ゼミナール	4 *8		3～	遠藤・佐藤	
	心理学理論と心理的支援	2		1～	佐藤		

## 【認定心理士 (心理調査)】

法人の定める科目領域		本学開講科目	単位数	履修要件	取得年次	担当教員
心理調査 *12	心理調査概論	心理学研究法 (心理調査概論)	2	2 単位 必修	2～	佐藤
	心理統計	心理統計学 II *1*2	2	2 単位 必修	2～	遠藤
	発展/応用研究 (実習)	応用心理調査実習 I *3*9	2	6 単位 必修	3～	遠藤
		応用心理調査実習 II *1*3	2		3～	佐藤
	卒業研究と論文	4(8) *7		4	遠藤・佐藤	

17～14年度生用

【認定心理士】

法人の定める 科目領域		本学開講科目		単位数	履修要件		取得年次	担当教員		
基礎科目	a	心理学概論	心理学概論	心理学概論Ⅰ	2	4単位 選択 必修	12 単位 以上 選択 必修	左の単位を含み、 左の単位を含み、 36 単位 以上 選択 必修	1～	遠藤
			心理学概論Ⅱ <sup>*1</sup>	2	1～				佐藤	
		心理学	2	1～	佐藤					
	b	心理学研究法	心理学研究法	2	4単位 選択 必修				2～	佐藤
			心理統計学（心理統計学Ⅰ）	2					1～	遠藤
			心理統計学Ⅱ <sup>*1*2</sup>	2					2～	遠藤
			心理検査法入門 <sup>*10</sup>	2					2～	廃講
	c	心理学 実験・実習	心理学基礎実験Ⅰ <sup>*3</sup>	2	3単位 選択 必修				2～	遠藤・谷田・佐藤
			心理学基礎実験Ⅱ <sup>*1*3</sup>	2					2～	遠藤・谷田・佐藤
			心理検査法 <sup>*10</sup>	1(2) <sup>*6</sup>					3～	廃講
選択科目	f	教育・発達 心理学	発達診断の理論と方法	2	4単位 選択 必修	2～	高木			
			教育心理学（教育・学校心理学）	2		1～	高木			
			発達心理学	2		2～	芹澤			
	g	臨床・人格 心理学 <sup>*5</sup>	臨床心理学	4	4単位 選択 必修	3～	野川			
			カウンセリング	4		3～	山本			
			心理的アセスメント	2		2～	担当教員			
			ストレスマネジメント論	2		3～	佐藤			
			精神疾患とその治療Ⅰ・Ⅱ <sup>*1</sup>	2(4) <sup>*6</sup>		2～	上鹿渡			
			精神保健の課題と支援Ⅰ・Ⅱ <sup>*1</sup>	2(4) <sup>*6</sup>		2～	上鹿渡			
	h	社会・産業 心理学	児童精神医学	1(2) <sup>*6</sup>	4単位 選択 必修	2～	上鹿渡			
			社会心理学	2 <sup>*11</sup>		3～	遠藤			
			集団心理学	2		1～	遠藤			
	i. その他		人間関係論	2		1～	市東			
			卒業研究と論文	4(8) <sup>*7</sup>		4	遠藤・佐藤			
専門ゼミナール			4 <sup>*8</sup>	3～		遠藤・佐藤				
		心理学理論と心理的支援	2		1～	佐藤				

【認定心理士（心理調査）】

法人の定める 科目領域		本学開講科目		単位数	履修要件	取得年次	担当教員
心理調査 <sup>*12</sup>	心理調査概論	心理学研究法（心理調査概論）	2	2単位 必修	2～	佐藤	
	心理統計	心理統計学Ⅱ <sup>*1*2</sup>	2	2単位 必修	2～	遠藤	
	発展／応用研究（実習）	応用心理調査実習Ⅰ <sup>*3*9</sup>	2	6単位 必修	3～	遠藤	
		応用心理調査実習Ⅱ <sup>*1*3</sup>	2		3～	佐藤	
	卒業研究と論文	4(8) <sup>*7</sup>		4	遠藤・佐藤		

- (注) \*1 「Ⅱ」を標記している科目は、必ず「Ⅰ」を標記している科目を履修した後に受講すること。
- \*2 「認定心理士」のみ希望する者は、シラバスの都合上「心理統計学Ⅱ」を必ず履修すること。
- \*3 「心理学基礎実験Ⅰ・Ⅱ」及び「応用心理調査実習Ⅰ・Ⅱ」は本学カリキュラム系列において、専門科目表の「演習・実習科目」系列であり、時間数は「心理学基礎実験Ⅰ・Ⅱ」及び「応用心理調査実習Ⅰ・Ⅱ」のⅠ・Ⅱそれぞれ2コマ連続開講(30コマ)2単位である。
- \*4 「心理学基礎実験Ⅰ」は受講定員(20名)があり、応募者数が定員を超えた場合には選考を行う。
- \*5 臨床・人格心理学の領域(g領域)では「臨床心理学」または「カウンセリング」のいずれかを必ず履修すること。
- \*6 この科目は、大学認定単位の半分が認定心理士のための単位となる。例えば「児童精神医学」は大学認定では2単位だが、日本心理学会では1単位までを認める。
- \*7 卒業論文は、大学認定では8単位だが、心理学に関わる研究テーマとすることで、日本心理学会では4単位までを認める。
- \*8 「専門ゼミナール」は3年次から、心理教員(3名)の専門ゼミナールの中から、学生にとって興味・関心の高いものを一つ選択し、4年次まで一貫して継続的に履修することが原則である。1つのゼミナールに希望者が集中した場合は選考を行う。また認定心理士の申請においては、単年度分(4単位)のみ申請可能である。
- \*9 「応用心理調査実習Ⅰ」は受講定員(15名)があり、応募者数が定員を超えた場合には選考を行う。また「心理学基礎実験Ⅰ・Ⅱ」を修得していないと、当該科目を履修することはできない。
- \*10 2018年度以降は当該科目を開講しないので、これら科目を履修希望する者は「心理的アセスメント」を履修すること。
- \*11 当該科目を2017年度までに履修した者は4単位が認められる。
- \*12 「心理調査」に関しては、18~15年度生のみ対応可能である。